

初めて相談を依頼した頃（〇歳〇ヶ月頃）、お子さんはどんな様子でしたか？

水流先生に初めてご相談したのは、2歳3ヶ月のときになります。

一歳半頃に初めて息子の発達に違和感を感じました。

具体的には、言葉が全く出ていない、こちらの言うことを全くわかっていない(簡単な指示が通らないなど)、指さしやバイバイなどの身振りをしない、順番が待てない、耳塞ぎをする、チャイルドシートやベビーカーでいつまでも泣き続ける…などなどです。

保健センターからは「2歳半まで様子をみましょう」と言われましたが、待ってられずに自分で専門医を受診しました。

診断こそされませんでした。早期療育をすることが望ましいとアドバイスされ、療育先を探していたときに水流先生のホームページにたどり着きました。

一歳半のときに感じた違和感は、水流先生にご相談するまでの期間に消えることはなく、特に要求が通らないといつまでも大声で泣きわめくことが目立っていたように思います。

現在までにどのようなことを相談しましたか？

親としては、発語が全くないことだけが問題で、それが解決されればほかの問題も付随して解決していくものだと思っていました。

しかしそうではなく、息子の癩癩や泣きに周りの大人（主に両親）が付き合っていることが大問題で、これを正さないといつまでも言葉は出ないと教えていただきました。

今となっては、「息子が大泣きをする→大人は要求を叶える、息子に注目する」という図式ではいつまで経っても泣きが強化されるばかりだとわかりますが、当時は息子がどうして泣いてるかを考え、泣き止ませるためにあれやこれやと四苦八苦していました。

まずは泣きに応じないことを徹底し、発語のための日々の練習方法、切り替えの練習、トイレトレーニング、暴力への対応、手つなぎ練習、幼稚園での対応方法等を主としてご相談させていただきました。

相談してどのような変化がありましたか？

息子の様子に変化があったことは言うまでもありませんが、親の意識が大きく変わったと感じています。

あのまま息子の泣きや癩癩に応じることを続けていたら、今の息子の姿はなかったはずで

す。

息子の行動に問題が発生したときは、息子が悪いのではなくて、周りの環境・大人が適切な対応をしていないはずだと考えるようになりました。

現在息子は年中になりました。

正式に発達障害の診断も受けました。

水流先生に初めてご相談をしたときには発語0だった息子が、今は歌を唄い、絵本を音読み、トイレは自分の意思で行き、毎日楽しく幼稚園に通っています。

定型発達の4歳児に比べたらとてもゆっくりではありますが、息子の口から言葉を聞ける日が来るのだろうか？と思っていた2歳のときからは、想像がつかないくらい成長しました。

子どもの発達面や行動面に不安を感じている親御さんに一言お願いします

自分自身の経験から言って、我が子の発達に問題があるということはなかなか受け入れ難

いことだと思えます。

私は今でも、いつか息子が劇的に成長するのではないか…という希望が頭の片隅から消えることはありません。

しかし、息子が何か（例えばトイレでの排泄、着替えのスキル、数字の理解等…）を習得するためには、長期的な学習を必要としていることが現実です。

たとえ発達障害の診断がなかったとしても、息子が人間社会で生きていくためには、親子で人の何倍もの努力を続けていかなければならないと思っています。

診断がついていないから…、我が子に障害があるわけがない！まだ小さいからこれから急成長するはずだし！という思いは私も持っていましたので、とても良く分かります。

しかしその気持ちを最優先して月日が流れるのを待つだけでは、お子さんの貴重な幼少期の時間を無駄にしてしまうこととなります。

発達障害の診断の有無などは関係なく、我が子の発達や行動に不安を感じているならば、早い段階でそれに向き合うことは非常に重要なことだと思えます。

少しでもお子さんの発達や行動に不安があるならば、一日でも早く信頼できる専門家にご相談されることを強くお勧めします。